



【熊本への応援歌】

日本一 No.1 を目指して 玉露生産農家を「激励」



未来のふるさと京田辺の創造
石井市長の「元」
現地・現場レポート

昨年(2015年)の京都府茶品評会(玉露の部)で2年連続最優秀に輝いた米田五司さんに茶葉の出来を尋ねる石井市長

製茶が最盛期を迎える5月11日、全国・関西茶品評会に出品する玉露生産農家や共同製茶工場など9カ所を激励に回りました。

全国茶品評会の産地賞を11回も受賞する本市ですが、茶葉の外観を重視する近年の品評会では苦戦しています。玉露の生産が盛んな飯岡で生まれ育った私は、京田辺の生産者の卓越した技術と丁寧な育成法が生み出す玉露のうま味や香りは日本一と確信しています。

は、天候にも恵まれ、茶葉の出来に満足する声を多くいただき、頼もしいと期待を感じました。

この素晴らしい玉露を、市民の皆さんに味わってもらおうと、平成21年から転入者へ茶葉・茶器セットの贈呈を始め、今年3月には4千件に達しました。

今後も、より多くの人にほんまもの京田辺玉露の良さを伝えていくため、玉露の振興と消費拡大に取り組むとともに、市内外へのPR活動を進めてまいります。

市は、市内で最も乗降客の多い近鉄新田辺駅構内に、有人の情報発信拠点「駅ナカ案内所」を開設し、5月26日にオープニングセレモニーを行いました。

セレモニーでは、石井市長が「まちの玄関口にできた新たな発信拠点を活用し、京田辺の魅力により多くの人にPRしたい」とあいさつ。

同案内所には市観光協会の職員が常駐し、

市政や市内のイベント・観光情報などを案内するほか、京田辺らしい逸品として同協会が認定する「京田辺ブランド一休品」の販売も行います。

新田辺駅を利用する際には、ぜひ立ち寄ってみてください。

【開所時間】
午前9時～午後5時
【問合せ先】
京田辺市観光協会
(☎68・2810)



1日の乗降客数約25,000人を誇る新田辺駅に開設した「駅ナカ案内所」では多くの人への情報発信が期待できます。

水防訓練に300人 技術磨き連携を強化

市は、毎年梅雨入りを前に、堤防決壊などを想定した水防訓練を行っています。

5月22日早朝、飯岡地区の木津川河川敷に集まった市消防団・消防職員、地域の自主防災会18組織など約300人は、土の積みや越水防止工法訓練などを行い、災害対応力の向上を図りました。

また、参加団体同士の連携を強化し、これから迎える梅雨や台風シーズンに備えました。

同訓練に初めて参加した河原自主防災会の西村均さん(64)は、「私の住む地域は木津川が近く水害が一番怖い。いざという時は、訓練の成果を生かしたい」と表情を引き締めていました。

向かい合わせに固定した板の間に土のうを積みこむことで水を食い止めるせき板工法の訓練に取り組む消防団員たち

消防団員募集

地域防災にあなただのチカラを

対象＝市内に在住・通勤する18歳以上の人。男女は問いません
申込・問合せ先＝▼地域の消防団関係者 ▼消防総務課 (☎63-1125)

女性隊員も活躍！

PRESENT Quiz クイズ

ヒントは広報紙の中に!!

市制〇周年

水出し玉露セット 3名様

③ 分かりにくかった記事
④ 今後取り上げてほしい企画やご意見など

正解者の中から抽選で3名様に、特産の水出し玉露とボトルのセットをプレゼントします。

個人情報は賞品の発送のみに使用します。また、いただいた意見や感想は広報紙などで紹介する場合があります。なお、ご意見に対する個別回答はできませんのでご了承ください。

当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

しめきり＝6月15日(水) (当日消印有効)
応募・問合せ先＝秘書広報課 (〒610-0393 <住所不要>、☎64-1320)

はがきに次の質問の回答と郵便番号・住所・氏名・年齢・日中連絡がつく電話番号を書いて郵送してください。応募は広報紙のほか、京田辺市eモニター(たなモニ)でも受け付けています。

①「〇」に入るクイズの答え
②興味を持った記事と感想

先月号の答え：玉露レディ「3」期生募集

緑豊かな田園都市ならではの ほっと通信

カルガモ親子!

住宅街を歩く

5月13日、花住坂に仲良く歩くカルガモ親子が現れました。親鳥を見失わないように懸命に後を追う愛くるしい姿に、住民は足を止めて笑顔で見守っていました。

市内の北部地域は、昭和50年頃から宅地化が進み、住宅地が広がる一方、周囲には豊かな自然も多く残っています。

住宅街を歩くカルガモ親子が見られるのも、緑と調和したまちづくりが進む京田辺ならではの、カルガモにとっても子育てしやすいまちなのかもしれません。